社機関・警察などと連携し、高齢者世帯の見回りや声かけを行いながら、地域主体型の活動を支援し、地域の子どもや高齢者が安心して生活できる町づくりに努めます。

●消防体制は、本年度、高規格救急車に搭載しているＡＥＤ（自動体外式除細動器）を更新し、救急体制の維持充実に努めます。

今後もさらなる消防体制の充実強化を行いながら、地域住民の生命・財産を守り、被害の軽減を図ります。

●地域交通ですが、効率的な運行が図れるよう、バス事業者に支援を努めます。

また、デマンドバスは地域の足として、より一層定着するよう努めます。

●防災対策では、減災の視点から常日頃より災害に対する意識を高めてまいります。

●国道、道道の整備では、留萌開発建設部、留萌振興局と連携しながら地域住民の意見を反映した要望活動を継続的に実施します。

●移住・定住対策については、「空き家・空き地バンク」のさらなる充実と活用、まちの魅力を直接感じる移住体験住宅の利用促進を図り、一元化した窓口と情報提供による移住者の増加に努めます。

主な施策内容	予算額
留萌南部衛生組合ごみ処理場管理運営負担金	62,633 千円
合併処理浄化槽整備事業	1,323 千円
橋梁長寿命化調査設計委託料	13,000 千円
橋梁長寿命化修繕工事	232,800 千円
橋梁定期点検事業負担金	8,000 千円
町道舗装維持補修工事	12,000 千円
小河川護岸復旧工事	7,000 千円
除排雪業務委託料	82,210 千円
新町団地改善事業	30,400 千円
生活交通路線維持費等補助金	11,584 千円
デマンドバス運行事業	17,195 千円

★福祉施策

●少子化対策は、平成27年度から小平町「子ども・子育て支援事業計画」がスタートし、保育料・乳幼児等医療費の無料化や保育時間の延長など、子育て世帯の経済的支援を行っており、一定の成果を上げていると考えておりますので引き続き子育て支援体制の推進と充実を図ります。

●高齢者対策は、住みなれた地域で安心して自分らしく暮らし続けることができるように、各種保健・予防事業の充実や社会活動等参加ポイント事業等の活用により、病気の重症化予防や生きがい対策に努める一方、家庭奉仕員による家庭訪問や冬場の除雪支援を確実に実施し、高齢者の支援を図ります。

また、町内各老人クラブの活性化に向け、健康な体と意欲の高揚が図られるよう一層配慮します。

●障がい者施策は、地域において必要な「障がい福祉サービス」・「相談支援」及び「地域生活支援事業」など各種サービスの計画的な提供が出来るよう努める一方、障がい者支援施設の計画的事業への支援を図ります。

主な施策内容	予算額
高齢者社会活動等参加ポイント事業	1,067 千円
高齢者交通費助成事業	3,709 千円
緊急通報サービス委託料	3,060 千円
障がい者相談支援事業委託料	1,300 千円

★医療・介護施策

●町民一人ひとりの健康づくりを支援していくため、「小平町健康増進計画」に基づき、一次予防に重点を置き課題に向けた施策の取り組みを推進します。

また、本年度から任意接種である子どものインフルエンザ予防接種にも、費用の一部を助成し発病予防や重症化予防に努めるとともに、引続き、健康出前講座の実施や健康管理システムを活用し、町民の健康維持に向けた一層の取り組みを進めます。

●介護施策は、介護予防の一層の重要性から介護予防・日常生活総合支援事業が昨年よりスタートし、多様なサービス事業の充実や早期の効率的かつ効果的なサービスの提供を図っております。

また、地域支援事業による認知症総合支援事業などの実施により、住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援などが包括的に提供できる体制づくりに努めます。

●後期高齢者医療制度は、保険料の見直しが定められた改定年であり、高齢化率の上昇による医療費総額の増加や、低所得者に配慮した軽減措置の拡充などが見込まれ、平成30・31年度の保険料率は上がる見通しでありますので、引き続き、各関係機関との連携を図りながら、適正な執行に努めます。

●国民健康保険は、本年度より国の医療制度改革において、将来的な保険料の平準化のため北海道が財政運